

第3回 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日時：平成27年8月27日（木）
18時30分～20時40分
場所：駅前交流プラザ「よろーな」

出席者：扇谷委員長、東野副委員長、今井副委員長、大沼委員、尾矢委員、
田中委員、中村委員、野間井委員、宮崎委員、
名寄市：加藤市長、橋本副市長、久保副市長、小野教育長、臼田総務部長、
田辺部長、小川部長、馬場子ども・高齢者支援室長、湯浅次長、
木村財政課長、金須企画課長、木村企画課主査、菊池企画課主査

1 開 会

2 市長挨拶

3 協議事項

(1) 基本目標Ⅱ 定住人口・交流人口の拡大に関する分野

「冬季スポーツ大会の開催や合宿誘致による交流人口の拡大」

- ・冬季スポーツ大会の開催・誘致の推進
- ・冬季スポーツ合宿誘致の推進
- ・ジュニア育成強化による冬季スポーツの拠点化

●質疑

(委員) 合宿が減少しているが、原因はどう考えているのか。また、冬季スポーツの大会・合宿の誘致としているが、冬季だけで良いのか。

(事務局) 合宿数が減った原因は、企業チームが減少したこと、地元開催大会が減ったことが考えられる。また、冬季スポーツを中心としているのは、施設や環境面が整っている冬季から取り組み、冬季スポーツの夏季合宿などに繋げていければとの考えからである。

(委員) ジュニア育成施策の外部指導者は一流の施設を有しているので、通年で指導者を入れた方がよいのではないか。

(事務局) 受け入れる環境の整備が必要となることから、まずは、ポイントでの導入を行い、指導者を増やすことから始めたい。

(委員) 合宿の誘致を進めるのであれば、拠点となるべく施設整備が必要であり、老朽化しているスポーツセンターの近代化などを考えられないか。

(事務局) 財政面の問題もあり、今ある冬季スポーツ施設を活用して拠点化を推進したい。

(委員) 大きな大会開催を合宿誘致に結び付けることは良いと思うが、受け皿である競技団体の強化についての考え方は。

(事務局) 競技団体は高齢化・後継者不足が深刻で、ボランティアなどの協力を得たいと考えており、他自治体の事例も勉強したい。ジュニア育成することで、保護者の協力を得ることや成績を出すことで、市民の関心を得られるように取り組みたい。

(委員) JOCジュニアオリンピックカップの参加人数や開催年数は。

(事務局) 参加選手は概ね500人で、3～5年間の開催を予定している。

(委員) KPIにある「新たに年間1大会開催」を「参加者数」で示すことができないか。

(事務局) 種目により参加者数が異なる為、KPIに設定することは難しい。

(委員) スポーツに関わる子どもや親、教職員なども少なくなっているように思える。

(事務局) 体育協会などの団体と連携し、市民がスポーツを盛りあげる基礎をつくるとともに、指導者の掘り起こしも進めたい。

(小野教育長) ジュニア育成のため、小中学校に冬季スポーツを専門とする教職員の配置できるよう努めたい。

(委員) JOCジュニアオリンピックカップ開催にあたり市内の宿泊の受入は可能なのか。

(事務局) 今年の全国中学スキー大会を参考とし、近隣市町村の宿泊施設も含めて対応したい。

(委員) 歓迎会などの対応はどのようなものか。

(事務局) 次に繋げるため歓迎、お礼などの対応をしていきたい。

(橋本副市長) 合宿受け入れを推進していくことで、対応すべき課題が見えてくると考える。また、民間事業者に効果が波及することを期待したい。ハード整備などは、引続き検討はしていく。

(2) 基本目標Ⅲ 子ども・子育て支援や高齢者福祉の充実に関する分野

- ・子育てと仕事の両立支援の推進
- ・子育て家庭への支援の推進
- ・高齢者が活躍できる環境づくりの推進

● 質疑

(委員) 子育て支援について、第3子に対してお祝などを給付することを検討できないか。

(事務局) 国の施策で多子世帯支援がなされると聞いているが、市としてもゴミ袋支給や医療費無料化拡大などを新たに実施することで子育て支援を行いたい。

(委員) 育休の市内企業の実態は。

(事務局) 2年前のアンケートでは、働いていない55%、取得した22%、取得していない17%という結果がでている。

(委員) 保育所の待機児童の現状は。

(事務局) 法律改正で定義が変更されたが、一時保育などのサービスを利用いただくことで、待機児童はいない状況である。

4 そ の 他

5 閉 会